

●特集 地域の魅力再発見！ パズル～スケルトン～



スマートICのある
新東名・東名の沿線市町に
関するクイズを出題!!
あなたの知らない静岡県の
新たな魅力が見つかる…かも?
下のヒントをもとに
マス目に文字を入れよう!!
A～Cをつなげると…?!
是非挑戦してみてください!!

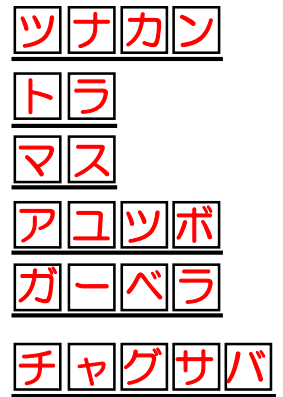
ヨコのヒント

(例) 静岡県は全国最多の13箇所の〇〇〇〇ICが開通しています。

ヨコの
マスへ!!

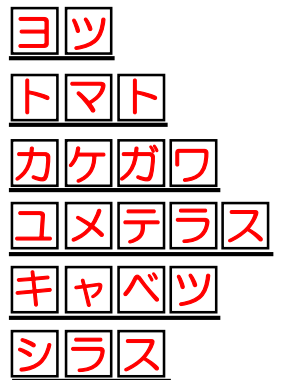


- 焼津港などで水揚げされるマグロ類を原料とした〇〇〇〇の生産量は全国第一位（平成30年）。静岡県でマグロ油漬缶詰として試作されたのが始まりです。
- 昭和52年、沼津で、人工的に卵から成魚まで育てた親魚から採卵し、稚魚を育てることに成功したことで、日本で初め〇〇フグの完全養殖に成功しました。
- 富士宮市などで養殖が盛んな、サケ科の淡水魚”ニジ〇〇”。静岡県の収穫量は1,080トンで全国1位です。（平成29年）
- 沼津市や長泉町などを流れる黄瀬川の中流に位置し、県の天然記念物に指定されている〇〇〇〇の滝。富士山を望めることから「富士見の滝」とも呼ばれ、公園や吊り橋も整備されています。
- 浜松市、牧之原市、島田市、藤枝市などで栽培が盛んな花。静岡県の出荷量は全国のおよそ1/3を占めています。（平成30年）
- 静岡県は日本一の茶どころ。牧之原・磐田原・愛鷹山・小笠山山麓など20を超える産地をもっています。茶園周辺で刈り取った草を、茶畑に肥料として投入する“〇〇〇〇農法”は、静岡県のごく一部で続けられており、世界農業遺産として認定されています。



タテのヒント

- 愛鷹山麓が原産地といわれている渋柿”〇〇溝柿”。その名のとおり、4つの浅い溝があるのが特徴。静岡県は栽培面積日本一です。（平成28年）
- 生でも、火を入れてもおいしい真っ赤な色をしたナス科の野菜。日照量が豊富な遠州地方は、県内最大の産地です。
- 〇〇〇〇市の葉ヶ岳山頂に、リニューアルオープンした休憩施設「かっぱしテラス」。広大な茶園が織りなす美しい風景を一望できます。
- 平成30年11月、静岡市に開館した「日本平〇〇〇〇〇」。日本平の歴史に関する展示や、展望デッキからの景色をお楽しみいただけます。
- その形状から「子持ちかんらん」とも言われる野菜”芽〇〇〇〇”。菊川市などで栽培が盛んで、全国の収穫量の9割を超え、全国一の生産量を誇ります。
- うなぎ養殖発祥の地とされる浜名湖周辺や大井川下流域の吉田町はうなぎの一大生産地です。養殖は、うなぎの稚魚である〇〇〇ウナギを育てます。



富士宮市、裾野市、富士市、御殿場市、小山町と山梨県にまたがる
世界遺産富士山!! 駒門スマートICのある御殿場市の 御殿場口から

“ 富士 ト サ ン ” をしてみてもは?!

編集・発行 静岡県スマートIC協議会

事務局 静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL:054-221-3359



◎解説

質問	答え	読み方	解説
焼津港などで水揚げされるマグロ類を原料とした〇〇〇〇の生産量は全国第一位（平成30年）。静岡県でマグロ油漬缶詰として試作されたのが始まりです。	ツナ缶	つなかん	静岡県は、平成30年における全国のまぐろ類缶詰生産量のうち、97%を占めています。静岡市にある清水港や焼津市の焼津港から水揚げされるまぐろ・かつおを原料としたツナ缶やみかん缶が今日の缶詰産業の基礎を築いてきました。
昭和52年、沼津で、人工的に卵から成魚まで育てた親魚から採卵し、稚魚を育てることに成功したことで、日本で初め〇〇フグの完全養殖に成功しました。	トラ（フグ）	とら（ふぐ）	昭和52年5月、当時の静岡県水産試験場沼津分室（沼津市）で、人工的に卵から成魚まで育てたトラフグを親魚として再び採卵し稚魚を育てることに成功しました。これにより、人工管理の下で計画的にトラフグ養殖ができる技術が完成し、日本で初めてトラフグの完全養殖に成功しました。
富士山麓を中心に養殖が盛んな、サケ科の淡水魚”ニジ〇〇”。静岡県の収穫量は1,080トンで全国1位です。（平成29年）	（ニジ）マス	（にじ）ます	富士宮市などで養殖が盛んな北アメリカが原産の淡水魚「ニジマス」。体の側面に幅の広い虹色の帯が走っていることから、この名がついています。静岡県は全国の養殖収穫量のうち23%を占めています。（平成29年）
県の天然記念物に指定されている長泉町の〇〇〇〇の滝。黄瀬川の中流に位置し、富士山を望めることから「富士見の滝」とも呼ばれ、公園や吊り橋も整備されています。	鮎壺	あゆつぼ	沼津市や長泉町などを流れる黄瀬川の中流に、位置約1万年前、富士山噴火の溶岩流によって生み出された落差約9メートル、幅約65メートルの、鮎壺の滝。太古の自然が生み出した長泉町にある、伊豆半島ジオパーク 自然遺産です。
浜松市、牧之原市、島田市、藤枝市などで栽培が盛んな花。静岡県の出荷量は全国のおよそ1/3を占めています。（平成30年）	ガーベラ	がーべら	花き生産が大変盛んな静岡県。なかでもガーベラは、作付面積・出荷量（平成30年）、産出額（平成29年）が全国一位となっています。ガーベラは、品種数が多く、花型も大輪系とミニ系の2種類に分類され、色も多彩であること大きな特徴です。
静岡県は日本一の茶どころ。牧之原・磐田原・愛鷹山・小笠山山麓、遠州地域などに20を超える産地をもっています。茶園周辺で刈り取った草を、茶畑に肥料として投入する“〇〇〇〇農法”は、静岡県のごく一部で続けられており、世界農業遺産として認定されています。	茶草場（農法）	ちゃぐさば（のうほう）	静岡県は、全国の茶園面積、収穫量の約40%を占める日本一の茶どころ。静岡県内の茶草場農法の実施区域である掛川市、菊川市、島田市、牧之原市、川根本町の4市1町は、推進協議会を設立し、平成25年5月に、石川県で開催された国際会議で世界農業遺産に認定されました。世界農業遺産として認定された茶草場所農法は、静岡県だけです。
愛鷹山麓が原産地といわれている渋柿”〇〇溝柿”。その名のとおり、4つの浅い溝があるのが特徴。静岡県は栽培面積日本一です。（平成28年）	四ツ（溝柿）	よつ	主に、小田原以西、安倍川以東で栽培されている四ツ溝柿。平成28年の栽培面積は全国の70%を占め日本一です。糖度が高く、肉質が緻密な渋柿で、渋抜きをすると、甘さが際立ち、一層おいしくいただけます。
生でも、火を入れてもおいしい真っ赤な色をしたナス科の野菜。日照量が豊富な遠州地方は、県内最大の産地です。	トマト	とまと	県産トマトは、品質の高さと大玉、中玉、ミニ、高糖度トマトなど種類の多さが特徴です。サラダの他、煮込み料理などの加熱料理としてもお楽しみいただけます。

◎解説

質問	答え	読み方	解説
〇〇〇〇市の粟ヶ岳山頂に、リニューアルオープンした休憩施設「かつぼしテラス」。広大な茶園が織りなす美しい風景を一望できます。	掛川（市）	かけがわ（し）	2019年5月、標高532mの粟ヶ岳の山頂に「粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス（愛称 かつぼしテラス）」がリニューアルオープンしました。富士山、空港、伊豆半島、駿河湾や南アルプスなども御覧いただけます。
平成30年11月、静岡市に開館した「日本平〇〇〇〇〇」。日本平の歴史に関する展示や、展望デッキからの景色をお楽しみいただけます。	（日本平） 夢テラス	（にほんだいら） ゆめてらす	開館2カ月で年間目標来場者30万人を突破し、開通から1年間で118万人が訪れた人気の観光施設。令和元年9月には付近に日本平久能山スマートICも開通しました。
その形状から「子持ちかんらん」とも言われる野菜”芽〇〇〇〇”。菊川市などで栽培が盛んで、全国の収穫量の9割を超え、全国一の生産量を誇ります。	（芽）キャベツ	（め）きゃべつ	静岡県は芽キャベツの作付面積も日本一。寒くなると甘みが増し、その形から「子持ちかんらん」ともいわれ、子孫繁栄の象徴としてお祝い事にも使われます。和え物、煮物、バター炒め、天ぷらなど様々な料理に御利用いただけます。
うなぎ養殖発祥の地とされる浜名湖周辺や大井川下流域の吉田町はうなぎの一大生産地です。養殖は、うなぎの稚魚である〇〇〇ウナギを育てます。	シラス（ウナギ）	しらす（うなぎ）	うなぎは活きたまま出荷されるほかに、白焼きや蒲焼に加工され出荷されます。栄養成分ではDHA、EPAのほか、ビタミンを豊富に含みます。夏の「土用の丑の日」になると、うなぎ料理屋では多くの人で賑わいます。
富士宮市、裾野市、富士市、御殿場市、小山町と山梨県にまたがる世界遺産富士山!! 駒門スマートICのある御殿場市の 御殿場口から”富士〇〇〇”をしてみてもは？	登山	とさ（ ）ん	富士山は、標高3,776メートルと日本の最高峰の山です。富士山の山頂へ至る登山ルートは4つあり、登山口が異なります。 吉田ルート：富士スバルライン五合目 須走ルート：須走口五合目 御殿場ルート：御殿場口新五合目 富士宮ルート：富士宮口五合目